

プーズー導入から展示まで

庄子 泰之

埼玉県こども動物自然公園（以下、埼玉こども）からオス 1 頭、メス 2 頭の搬出について打診があったことから、以下に述べる 3 点に着目し、導入に至る。

- ① 展示効果の向上：アメリカ区旧イノシシ展示場に展示。世界最小のシカで希少種でもあるため、話題性も含め、当園の魅力と展示効果の向上を期待する。
- ② 国内での同種の飼育下個体群維持への貢献：埼玉こどもで繁殖個体群を飼育しており、その繁殖個体の一部が神戸どうぶつ王国に展示されているのみ。当園が飼育に参加することで、埼玉こどもで新たな繁殖が望めるため、今後の国内飼育下個体群の維持に寄与ができる。
- ③ 教育効果の向上：森林性のシカであり、希少草食動物の展示と森の動物を通じて身近な森の生物多様性の重要性を伝えるという当園のコンセプトにも大きく逸脱しておらず、本種の展示を通じて森の生物多様性について教育活動を行う際の教材として最適である。

2024 年 5 月、書類の準備 横浜市へ協議書提出。環境省へ希少種保全動植物園等の変更申請書を提出。6 月 6 日、埼玉こども現地下見。以降、飼育場所の選定、工事、種名板作成、マップ変更。11 月 22 日公用車にて搬入（検疫期間 2 週間）。12 月、展示場馴致開始。12 月 16 日種名板取付（9 月作成済み）。記者発表後、12 月 18 日展示開始。

展示に至るまでの経緯について報告する。